



《事務所・自宅》 〒878-0011 竹田市大字会々1861-30

TEL・FAX (0974) 63-0581 HP <https://miyanari-kouichirou.com/>

- 暑い日が続く中、県議会議員として2度目の夏を迎えています。議員活動の幅が広がっており、自分にしかできないこと、自分にできていないことに日々気づかされます。
- 県議会では昨年度の土木建築委員会に続き、今年度は農林水産委員会に所属しています。全力で農業に関する知識を吸収し、課題を整理し、政策に結び付けたいと思っています。
- 市内外で声をかけられることも多くなりました。何かあれば遠慮なくご相談ください。

交通網の整備

- 大分県ではこの春、交通政策の総合企画・調整や、広域交通ネットワーク推進等を担う交通政策局を企画振興部に新設しました。
- 豊予海峡ルート構想、東九州新幹線の整備、東九州自動車道の4車線化等に加え、中九州横断道路等の早期完成を目指す中、広域交通ネットワークの充実を図るための改編です。
- 県議会では、広域での経済・人的交流の促進、観光振興、産業振興等について調査研究を行うため「広域交通ネットワーク特別委員会」を設置し、調査研究に着手しました。
- 一方、生活道路の整備・充実も欠かすことはできず大分市宗方の国道442号の4車線化、下郡の庄の原佐野線の高架化等、竹田市民の利用頻度の高い道路の整備も進んでいます。
- 竹田土木事務所管内でも限りある予算の中で計画的に整備が進んでおり、昨年度は次の場所で事業を終えています。道路・交通網整備に向けご理解とご協力をお願いします。

名称	地区	工区	事業費	始期	整備内容	延長
竹田五ヶ瀬線	玉来	中尾工区	1.8億円	平成9年度	拡幅・バイパス整備	1120m
	宮砥	田原3工区	3.3億円	平成28年度	バイパス整備	780m
庄内久住線	久住	久住2工区	2.5億円	令和3年度	現道拡幅	150m
	長湯	新田工区	9.9億円	平成21年度	歩道設置	2020m
	下竹田	塩手工区	8.0億円	平成25年度	拡幅・バイパス整備	960m



歪な線形だった県道8号竹田五ヶ瀬線(神原玉来線)の門田交差点(入田)付近はスッキリとした形に変貌を遂げた。交通安全の面でも効果を期待。



令和5年に開通した久住中心部を通る県道30号庄内久住線は歩道整備を終えた。国道442号との接続箇所は終了しているが途中の整備は残る。



鹿児島から大分は、熊本→博多→小倉→大分が最速ルート。東九州の鉄道整備の後れを痛感。敢えて熊本→竹田→大分に乘ったら素敵な時間があつた。

農業の振興

- 食料・農業・農村基本法が「食料安全保障の抜本的強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「農業生産の維持・発展と農村コミュニティの維持」を目指し改正されました。
- 生産者の激減、耕作放棄地の増加、鳥獣害対策等に加え、国際紛争や為替レートに起因する燃料や飼料の高騰など、農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。
- 法の名前にあるとおり食料と農業は切っても切り離せない関係にあるものの、都市部の多くの人にとって「食」は身近なもので「農」は関心の薄い産業なのでしょう。
- 世界人口が今後30年の間に20億人増加し100億人を突破するという試算がある中、遠くない将来、食料不足が現実のものとなることも危惧されています。
- 国策の中で推進されてきた農業は、生産、生産者、生産基盤に対するあらゆる方面からの政策・施策が求められていますが、今後はより一層の展開が必要となります。
- 本年度、大分県に投下される農業農村整備事業費（ダム・堰の建設、水田・畑整備、農業用道路整備など）は約150億円であり、竹田市は県内トップの約27億円です。
- 県議会では、食と観光、農林水産業のさらなる振興と人材の確保・育成を目指し「経済活性化対策特別委員会」を設置し、多分野連携の下で調査研究を進めています。



- 交通網整備は、流通、定住、産業振興、観光等、様々な分野で効果が期待され、地域間競争に打ち勝つためにも中九州道を中心に主要幹線道路の整備に向けて取組みを進めます。
- 議会の農林水産委員会のほか、会派の農林水産調査会副会長として取り組む中で、様々な調査を行い事例を研究する中で「農業は斜陽産業ではなく成長産業」と気づかされます。
- 先人が築いた農業土木遺産を市内に多く有し、現在も恩恵を受けている中、竹田市は世界かんがい施設遺産の登録に挑みます。土地改良議員連盟の1人として役割を果たします。
- 暑い日が続きますが、皆様、体調の維持・管理にはくれぐれもお気をつけください。
なお暑中見舞いや初盆のお供えは禁止されていますので、ご理解をお願いいたします。(宮)